



檀原北やまところども園

第3回三者協議会資料

社会福祉法人アタラシイカタチ



園の概要

名称：公私連携幼保連携型認定こども園 檀原北やまこども園

定員：180名

年齢	0才	1才	2才	3才	4才	5才
人数	9	18	18	45	45	45

設置者：社会福祉法人 アタラシイカタチ

代表者：生田 宏史

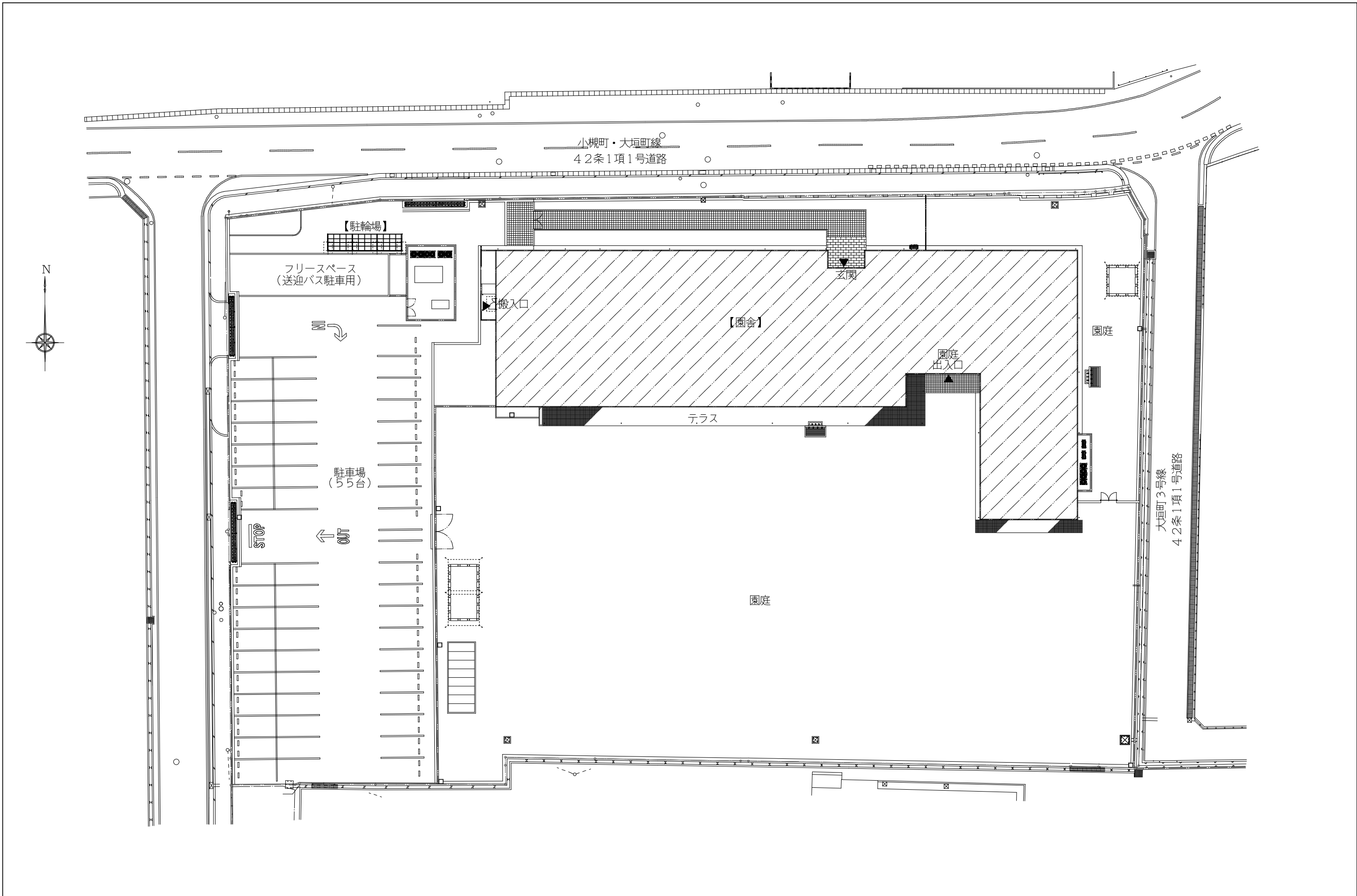
開園：令和9年4月予定

職員構成：園長・副園長・保育教諭・事務職員
看護師・用務員など

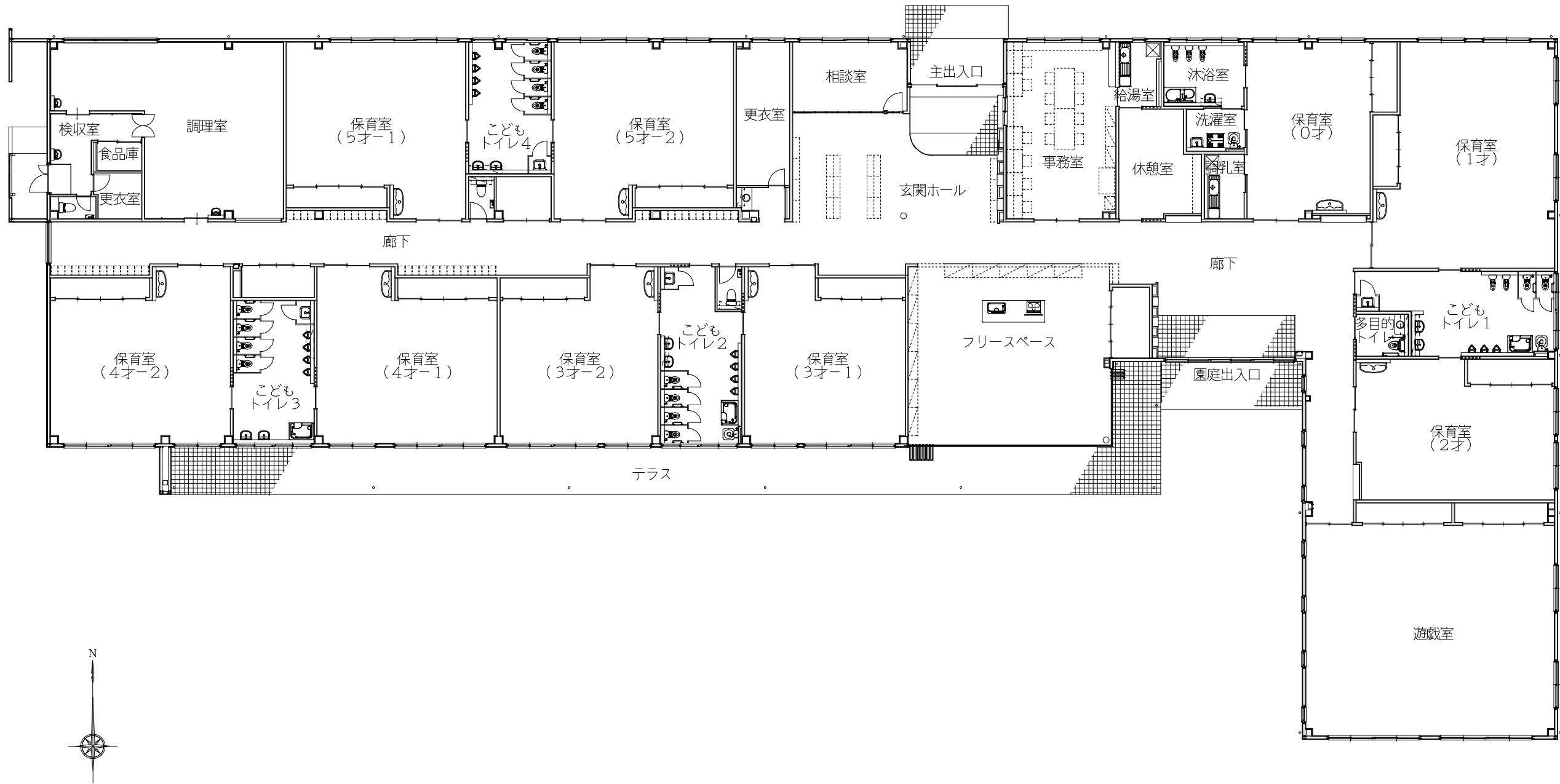
ア・タ・ラ・シ・イ
カ・タ・チ



工事名		公私連携幼保連携型認定こども園 樞原北やまとこども園新築工事										ヒロタ建設株式会社			想定される 近隣影響	
		全体工程2026年 2月1日～2027年2月28日(予定)														
工事項目	2026年												2027年			
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月			
開発工事																
仮設工事		仮囲い		基礎足場			外部足場						仮囲い撤去			
杭工事																
基礎工事						ダンプ・油圧ショベル・コンクリートミキサー車										
鉄骨工事								レッカー車により鉄骨組立								
屋根・外壁工事																
内装工事																
外構工事																
設備関係工事																
隣地への配慮	現場周囲へは万能鋼板、またはフェンスにシートを張り、騒音・埃防止対策															
	外部より見える場所へ工事内容の告知看板を設置															



凡例		JOB NO	DATE	JOB NAME	設計図	NO
			26. 02. 05	社会福祉法人 アタラシイカタチ 公認通称施設運営認定こども園 穂原北やまこども園 新築工事	配置図	
		APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWN BY	SCALE 1:200 (A1) 1:400 (A3)	
					設計 サシコウ設計 一級建築士 134567 木田 隆 宣	



凡例		JOB NO	DATE	JOB NAME	NO
			26. 02. 05	社会福祉法人 アタラシイカタチ 公認連携型認定こども園 横原北やまこども園 新築工事	設計図
		APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWN BY	平面図
					SCALE 1/100 (A1) 1/200 (A3)
		社 経 サンコウ 設計 一級建築士 134567 木田 隆 室			

開園日と開園時間

(1) 開園日・開園時間			
休園日の設定		日曜日・土曜日（1号認定のみ）国民の祝日に関する法律に規定する休日・ 年末年始（12月29日～翌年1月3日）	
		1号認定子どもの長期休業期間 7月20日～8月31日・12月24日～1月8日・3月19日～4月7日	
開園時間 保育時間	平日	最大開園時間	7時15分～19時00分
		保育時間（1号）	9時00分～14時10分
		保育時間（2・3号標準時間）	7時15分～18時15分
		保育時間（2・3号短時間）	8時30分～16時30分
	土曜日	最大開園時間	7時15分～18時15分
		保育時間（1号）	—
		保育時間（2・3号標準時間）	7時15分～18時15分
		保育時間（2・3号短時間）	8時30分～16時30分



特別保育事業

幼稚園型一時預かり事業（預かり保育）

- ・実施時間 平日：7時30分～18時30分
長期休業期間：7時30分～18時30分
- ・料金設定 500円／日額
1,500円／日額（長期休業期間）
- ・職員配置 預かり保育担当の職員を配置

延長保育事業（2・3号認定）

- ・実施時間 短時間：7時15分～8時30分・16時30分～19時00分
標準時間：7時15分～7時30分・18時30分～19時00分
- ・料金設定 500円／日額
- ・職員配置 延長保育担当の職員を配置



やまこども園
幼児クラス 午前の様子

8:50 自由遊び



クラスごとの教室に移動し、指先を使うおもちゃなどで楽しめます。

あえて
毎朝同じ歌を歌い、
園生活のスイッチ
をオン!



9:30

朝の会

みんなで歌を歌い、朝のあいさつ。保育教諭が今日の活動などについて話します。

9:45

コーナー遊び

テーブルごとに異なるおもちゃを用意し、一人ひとりが好きなものを選択して遊ぶ時間。



10:20 戸外遊び

子どもたちが興味・関心を持つ遊びを取り入れ、園庭で元気いっぱい！ねらいに沿った教育活動も行います。



11:00 給食準備

みんなでテーブルを拭き、配膳の手伝いもします。

AM

7:00

- 早番の職員が園を開けます
- 職員が園内を掃除
- 順次登園、健康観察、自由遊び

8:30



早朝保育

保護者の方の仕事の時間に合わせて9時までをめどに登園。職員の目が届く早朝保育の部屋で好きな遊びをして過ごし、保育教諭による紙芝居を楽しむ姿も見られます。

8:00

9:00

10:00

11:00

12:00

11:00 離乳食



離乳食後期は全粥にしらず、キャベツの煮物、スープなど。完了期は普通食に移行します。

職員



クラスミーティング

各クラスの保育教諭らが事務所に集まり、園全体の連絡事項や前日の引き継ぎ、今日の予定などについてしっかり共有。



保護者の方からの連絡を専用アプリでチェック

保護者の方からの連絡内容や出欠は、タブレットに集約されています。

やまこども園 chouchou
0歳児 午前の様子

朝のおやつ

りんごやみかんのジュースなど。



9:00

ほかの子たちは、
絵本や手遊びで
楽しく過ごして
いますよ



9:15

おむつ替え

定期的に交換して、清潔にしています。

10:00 設定保育



戸外遊び

9:30

友だちと一緒に遊ぶ子どもたち。設定保育では、子どもの成長や発達に合わせてトンネルやボール遊びも行っています。

子どもと職員は何してる？

園の1日をのぞいてみよう

やまとこども園 mimi
幼児クラス 午後の様子

お昼寝の準備 12:50

床に直接ふれずに寝られて清潔なコットベッドを用意。

職員



ふわあ～
眠たくなってきた



13:00

絵本の読み聞かせ

お昼寝前に保育教諭が絵本を読みます。聞いている子どもたちはリラックスモードに。

15:00 おやつ

調理師が愛情を込めて手作りするおやつが人気！誕生日会には愛らしさ満点のスイーツも登場します。



15:20 帰りの用意



15:40 自由遊び

降園準備も自由遊びも、保育教諭が一人ひとりの子どもの姿をしっかりと受け止めて見守り、必要な援助も行い、主体性を育みます。



11:20

給食

専属の栄養士が栄養バランスや旬の野菜、彩りにこだわったメニュー。手作りのおいしい給食で、食べる楽しさを伝えます。



13:10

お昼寝

活動的に過ごした子どもたちは、すぐにすやすやと…



保護者の方向けに活動内容を配信！

交代で休憩を必ずとります。



職員

16:30 帰りの会



保育教諭が明日の活動について話し、順次降園。3～5歳児で交流しながら、お迎えを待ちます(合同保育)。

- 職員が教室を掃除、明日の準備
- 遅番の職員が園を閉めます

PM

12:00

13:00

14:00

15:00

16:00

17:00

18:00

19:00



12:00

お昼寝

通気性のよい清潔なコットベッドを使用。



14:30

離乳食

手作りのニンジンや小松菜のお粥など。保育教諭が子どもの表情を見て、やさしく言葉をかけて食事を楽しんでいます。

15:00 自由遊び



16:50 仲良し保育

1歳児クラスの部屋に移動し、0～2歳児の合同保育に。お迎えを待ちながら保育教諭とともに異年齢児で交流して遊びます。



職員



鶴舞やまとこども園
0歳児 午後の様子

子どもたちがお昼寝中、保育教諭は専用アプリで保護者の方にお伝えする内容を入力。交代で休憩を必ずとります。

複数のこども園に看護師が常駐！
適切な処置や健康相談が受けられます

当法人の職員である看護師の業務は、ケガの応急処置や体調不良の子どもの看護から健診・検査・予防接種・感染症に関する取り組み、健康教育・相談、衛生管理、職員向け勉強会の実施など多岐にわたります。虫歯予防デーのお話も担当した鶴舞やまこども園の看護師は「歯科健診の結果も優秀でやりがいを感じています」と話し、親子の健康意識も高まっています。



子どもたちが興味を持った遊びに保育教諭と一緒に取り組む時間です。お迎えの方が到着した子から順次降園。



家庭的な雰囲気
大事にしています！





活動の様子を見てメモを取り、保育教諭に質問する水野先生。
より楽しく遊ぶヒントもくれる先生は人気者です。

め方を変更。保育室内を遊びの
ジャンルごとに仕切り、登園し
た子どもたちは興味をもった
コーナーに行き遊びはじめま
す。各コーナーを自由に行き来
していろいろな遊びや活動に取
り組み、給食やお昼寝のタイミ
ングも子ども一人ひとりの気持
ちを重視「決して放任してい
るわけではありません。複数の
保育教諭の分担がしやすく、広
い保育室よりも一人ひとりに目
が行き届く、子どもにとって安
心な環境です。子どもと主体の保
育では、集団生活に必要な力も
身につきますので「安心を」と
水野先生は教えてくれました。

探究心や協調性が
芽生えるコーナー保育
乳児期から子ども主体の保育
を行うと、自分で考えて行動す
ることが当たり前になっていく
もの。幼児期の探究的な遊びの
幅が広がり、やり抜く力や人を
思いやる心を伸ばし、小学校に
入ってから学習面や友人関係
も安定すると言われています。
そこで、当法人の園で乳児保
育のさらなる充実を図るために、
乳児保育に詳しい水野先生を招
聘。現在はやまこども園、やま
こども園chouchou、やま
とこども園hugを中心に、水
野先生と保育教諭たちが話し合
いながら、はじめてのことにも前
向きに挑戦しています。
やまこども園では、本年春
から保育室の環境と保育の進

当法人では人格形成に大き
な影響を与える乳児期に着
目し、保育アドバイザーの
水野ゆか先生とともに新た
な取り組みをスタートさせ
ました。やまこども園の2
歳児の保育室の様子や、保
育教諭の声も紹介しながら、
乳児保育の大切さについて
お伝えします。

こどもファーストの乳児保育

0・1・2歳の経験が
未来を豊かに生きる力につながる



目隠しのある安心な場所で
手早くおむつ交換を行う
おむつ替えを見られるのは、乳児
にとっても抵抗があるもの。子ども
のプライベートゾーンを守ります。



想像力が膨らむ道具が揃い
友だちと会話も楽しい
棚から好きなグッズを自分で取り出し
ておまご。友だちや保育教諭と関わ
り、遊びが広がります。



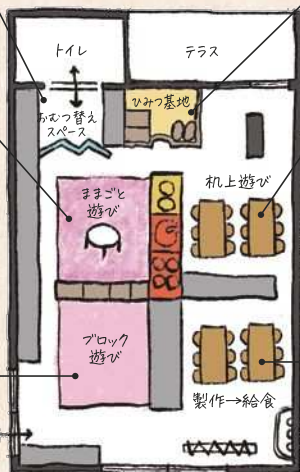
愛情を注ぐ保育教諭と
思考力や集中力を育む
ブロックで車などを作る遊びに夢中に。
泣く子どもを保育教諭がやさしく抱きか
かえる場面も。

給食後は各コーナーに
ふとんを敷いて
随時お昼寝タイムへ

給食前に各々おもちゃをも
とに戻し、保育教諭が早く机
を片付けてふとんを敷きます。
給食が終わって眠くなった子
どもから、ふとんでごろごろと。



やまこども園
2歳児
りんご組
自分で選んで行動する
一斉保育からコーナー保育へ
保育室が変わりました！



※やまこども園の2歳児保育室のレイアウト
(2025年11月現在)

ダンボールに囲まれた
ワクワクおこもり空間
中にはひとり用のダンボール
ハウスが！ひとりほっこりし
たいという思いにも応えます。



手先を動かしながら
日本語や英語にもふれる
アルファベットのシールを貼ったり、ワークシ
ートに取り組んだり。保育教諭手作りのものなど、子
どもの興味に合わせてさまざまな教材が登場。



少人数ごとに
製作を楽しんだら
給食へと移行
画用紙に綿を貼って
湯気を表現するなど、
いろいろな素材で作
品をつくります。製
作後は保育教諭が清
潔にし、給食スベ
ースへと早変わり。



築山におもちゃを並べたり、水を流したりと工夫しながら遊ぶ子どもたち。久保さんは「滑り台付きの築山もよいのですが、滑り台ばかりで遊ぶのは避けたいと思いました」と言い、あえて余白を残した設計に。ブルーシートを使用することで、築山を滑る面白さも味わえます。築山トンネルでは、小さな子どもたちがくつろぐ愛らしい様子も。取材中、久保さんからの「園庭にクローバーを植えると土壌もよくなりますよ」という提案が。保育教諭からは「木の実などをまきごみをキッチンコナーをつくりたい」「ひとりでホッとできるおこもりスペースもいいな」などのアイデアが次々と。昭和やまこども園の園庭は、これらも柔軟に変化していきます。

「私たちは保育を実践する現場の先生方と一緒に園庭をつくることに重きを置いています」と同社の久保さん。同社との研修では、まずは保育教諭たちが子どもたちの様子を見て、園庭に取り入れた要素を書き出して発表。その内容を踏まえて同社がプランを作成し、植える植物について保育教諭たちが意見を交わす時間も。園庭が形になっていく時間も。遊びを広げる方法について、同社からアドバイスを受けました。

「『キレイすぎる』と言われるのが目から鱗でした。子どもたちが草や虫にふれてのびのびと挑戦する姿も見て、あえて雑草を残し、カタチが変わっていく園庭は好奇心をかきたてるのだと考えさせられました」と川北主幹保育教諭。

同社からは、園庭で安全に遊ぶ方法についても教わりました。「今まではケガにつながるのではないか、ストップをかけることもありました。しかし、アドバイスを受けてからは子どもがやりたいことをできる限り見守り、『そのアイデアはいいね』などと、楽しく遊ぶための言葉をかける保育教諭が増えましたね」と名迫主幹保育教諭。

小高く土を積み上げた築山に穴を掘ったら「水汲んできて」「流すよ」と子どもたちが元気に言葉を交わしたり、年長さんが年少さんに「水流してもええで！」と声をかけたり。子ども同士で積極的に交流しながら、安全に遊んでいます。「自然のなかで共同して遊び込む体験は、感性や五感、そして自己肯定感を育むと言えます」と、久保さんは笑顔で話してくれました。

現在、園舎のリニューアル工事中の西大寺北こども園でも、同様の方法で園庭づくりを計画しています。当法人の「アタラシイ園庭ノカタチ」の今後にもご期待ください。



登る・橋になる・ぶら下がる・隠れるなどの動きを楽しめる遊具や、揺れる動きで体幹を鍛えられる遊具を設置。雲梯と登り棒もあり、子どもたちの体力向上にも役立っています。



ハンドルを上下に動かすと水が出るガチャポン。最初は仕組みがわからずに不思議そうにしていたが、自分たちで操作しながら考え、友だちと分担して水を汲むように。

昭和やまこども園を訪ねて

理想の園庭づくりプロジェクト 保育教諭たちと一緒に育む 「アタラシイ園庭ノカタチ」

昨秋より新園舎での保育を開始した昭和やまこども園では、保育教諭たちが計画段階から参画して新しい園庭づくりに取り組んでいます。園庭のプロデュース事業を展開する企業担当者と主幹保育教諭2人の声を交えながら、「あえて雑草もいかず」園庭について紹介します。



築山の上からの見晴らしは最高！1歳児が幼児についていき、はじめての遊びにチャレンジする姿も見られます。

変わりゆく自然こそ遊びと学びの原点

地域の野生生物が暮らす場所を意味する「ビオトープ」。この言葉が生まれたドイツには、園庭遊びの動線上にビオトープを取り入れている幼稚園がたくさんあります。気候によって毎日変化する自然のなかでの遊びを通して、すべての人や人が異なることに気づき、一人ひとりを大切に思い、相手を尊重する気持ちで芽生える子どもたち。

この様子を目にした当法人の生田理事長は「自然そのものが遊びと学びの場である」との思いを強くし、昭和やまこども園の園庭づくりでは、株式会社スマートエデュケーションに協力を依頼。同社は遊びを通して自然の不思議さや面白さ、美しさに出会う空間「ASOBIO（アソビオ）」を園庭に設置する取り組みを各地で行い、高い評価を得ています。

園庭での保育活動に よい変化が生まれている

「私たちは保育を実践する現



株式会社スマートエデュケーションのナビゲーター・久保 翔太郎さん(中央)と、昭和やまこども園の川北主幹保育教諭(左)、名迫主幹保育教諭(右)。



トンネル付きの築山の周りには実がなる木々などを植え、築山の奥には水が出るガチャポンと、主に幼児が遊ぶ砂場を配置。右側には遊具を並べたゾーンと乳児用の砂場もあります。



園長や主幹保育教諭だけでなく、若手からベテランまでが参加した研修の様子。理想の園庭についてプレゼンを行い、保育教諭のワクワク感も高まっていました。



給食室の様子も公開!

食育は元気よく遊び おいしく食べることから。

子どもたちにはこども園で思いっきり遊んだあとに、
おなかいっぱい食べてもらいたいと考えています。
そのために給食で大事にしていることを中心に、
郡山双葉会の食育への取り組みについてお伝えします。



9月お誕生会: キャロットピザ、エビフライ、マカロニサラダ、ベーコンのスープ、梨



10月お誕生会: ベジロール、彩り野菜のミートボール、かぼちゃのサラダ、ブロッコリー添え、ABCスープ



節分: もじゃもじゃ頭の鬼ライス、かみなりサラダ、大豆とごごろ野菜のスープ、バナナ



七夕: とうもろこしごはん、星のコロッケ、きゅうりのさきみ和え、天の川にゅうめん、すいか



9月給食より: ゆかりごはん、ツナとほうれん草のオムレツ、ブロッコリーのおかか和え、にゅうめん



10月給食より: ごはん、さばの塩焼き、高野豆腐と野菜の煮物、小松菜と里芋のすまし汁



5月お誕生会のおやつ: デコレーションマフィン



5月お誕生会: ウィナー犬、アスパラ入りジャーマンポテト、ブロッコリーとツナのサラダ、白菜とマカロニのカレースープ



ひなまつり: お花のちらし寿司、ふんわり花型豆腐、菜の花とハムの和え物、花魁のすまし汁、白桃缶



お月見: 栗ごはん、うさぎ型ハンバーグ、さつまいもステーキ、切干大根のコールスローサラダ、里芋と揚げの味噌汁

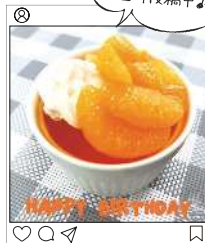


9月おやつより: ココア蒸しパン



10月給食より: ふりかけごはん、みそラーメン、ちくわのチーズ揚げ、みかん缶

郡山双葉会のInstagramにも随時投稿中



アイデアいっぱいのメニューが記された、川口さんのメモ帳。

を聞き、好評だった料理は月1回のお誕生日メニューに採用しています。おいしく食べてもらいたいので、不評だった料理は栄養面を考慮して新たな料理に変更しますね。また、箸フォーク、スプーンのとれを使うのか、離乳食の子どもが手づかみ食べできるのかなどについても、日常的に保育教諭と情報に共有し、成長に合わせた食べやすい形状で提供しています。

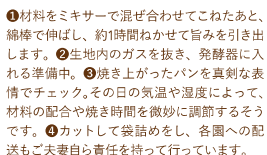
Q 保育教諭や調理担当者とはどのように連携している?
A 保育教諭・調理師・栄養士の私が定期的に集まってミーティングを行い、献立に対する子どもたちの反応が減っている印象です。

Q 献立づくりで心がけていることは?
A たくさん食べてもらうために、子どもにとって馴染みのあるハンバーグや麺類などを意識的に取り入れています。ひじきの煮物や高野豆腐は、見た目でも苦手になりがちですので、インゲン豆や卵を加えるなど、彩りも栄養バランスもよくなるように工夫しています。月齢が上がるほど和食や野菜に慣れていき、好き嫌いが減っている印象です。



川口 佳子さん
栄養士の経験約15年。幼児と小学生のママ。

全園の献立作成を担当する栄養士に聞きました!



「子どもたちが苦手の野菜をおいしく味わえるロールパンを開発したい」「保護者のみなさま向けにパンの予約販売も行えたら」など、さまざまなアイデアも膨らんでいます。当法人の今後の食育への取り組みにご期待ください。

厳選食材で手作りし給食の満足度がUP

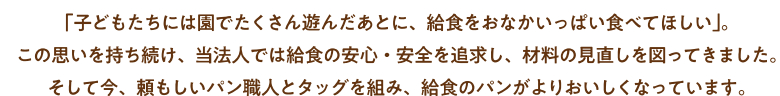
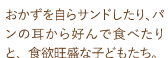
給食を通して食育の大切さを伝える当法人の取り組みは、国産の鰯節と真昆布から取った出汁を使うことからはじめました。続いて着手したのは野菜。冷凍野菜ではなく、生野菜から調理することにより、調理員が手間を惜しまず子どもの年齢に合わせて細かく切り刻んでいます。次に奈良県橿原市内の農家と直接契約。ごはんを化学肥料不使用で減農薬栽培する“れんげ米”に変更しました。

そしてこの度、奈良県桜井市内にやまもとこども園が運営するبان工房を新設。バン職人では、昨年夏まで橿原市内でペーカリー「カメパン」を営んでいた亀本さんご夫妻を迎えました。ご夫妻は現在、当法人の職員として、全園で提供する給食用のパンづくりに精を出しています。

物を含ませず、卵も不使用のため、卵アレルギーの子でも、安心してみんなと同じおいしいパンを食べられます。

「子どもたちの給食のパンを、作るという仕事に魅力を感じ、心が動きました。これまでお客さまから『子どもがこのパンを喜んで食べてくれる』などの声を聞いたたびに、大きなやりがいを感じていたので、ずっと亀本 修さん。実はほかからも声がかかったのですが、当法人を選んでくれました。ご夫妻は自身の子育ての経験からも、食の重要性を実感しているとのこと。奥さまの美栄さんは「未来を担う子どもたちにとって大切な愛情の場を提供するバンです。愛情を含め、細部にまで目を行き届かせて作っています」と話します。

「子どもたちが苦手な野菜をおいしく味わえるロールパンを開発したい」「保護者のみなさ



口溶けのよいパンに仕上がるよう、厳選した国産小麦とカナダ産の小麦粉を独自の配合でブレンド。国産のきび砂糖や赤穂の天塩、北海道産の塩梅バターなど、質の高い原料を使用している。写真・上は亀本 修さん、美栄さんご夫妻。修さんは「家にパンがあるとか朝が楽しみ」と言い、美栄さんは「夫は本当によくパンを買って帰ってくださるんです」と笑います。

保育料以外の実費負担

保育料以外の実費徴収については、三者協議会を通じて園児の教育・保育に必要な実費について、相談させていただき最終決定させていただきたいと考えています。なお、上乗せ徴収並びに実費徴収については、保育の質を確保した上で、保護者の過度な負担にならないように慎重に検討し、保護者の理解を得たうえで実施することとします。

給食費については国の基準額と同額とし、物価高騰の状況下ですが、保護者からの追加負担を求めない形で給食内容の充実を行います。国の基準額が変更された場合は、その基準に沿って価格改定を行います。

【実費徴収】

2号認定児童	副食（おやつ有）	6,200円／月額	園で徴収
	主食	1,700円／月額	園で徴収
1号認定児童	副食（おやつ無）	5,200円／月額	園で徴収
	主食	1,700円／月額	園で徴収

・1号認定児童のおやつ代は、預かり保育料に含まれます。

- ・昼寝時のふとんの衛生面や保護者の負担軽減を考え、午睡用コットベットを使用予定です。
- ・服装（園児）は、活動しやすい普段着を予定しています。リュックや靴の指定も行いませんが、目安となる基準をお知らせし、各家庭で用意をいただく予定です。
- ・その他の費用については、今後引継ぎを通して明らかになる項目や費用は分かり次第お知らせする予定です。
- ・各種保育用品については、現在使用しているものは可能な範囲で引続き使用できるように配慮します。



アタラシカタチの教育・保育理念と引継ぎに対する考え方

私たちが最も大切にしていることは、すべての教育・保育の中心に据えている考え方は、「こどもファースト」です。

子ども一人ひとりには、それぞれ違った個性や育ちがあります。

私たちは、大人の都合や効率を優先するのではなく、

「子どもにとって最も良いことは何か」を常に考えながら教育・保育を行っています。

子どもが安心できる環境があるからこそ、自分らしく挑戦し、失敗し、考え、成長することができます。

この安心できる環境づくりこそが、私たちの教育・保育の原点です。

子どもも先生も笑顔になれる保育

私たちは、子どもだけではなく、保育者自身が保育を楽しむことも大切にしています。

子どもは先生の表情や言葉から安心感を得ています。

先生が子どもと一緒に驚き、一緒に考え、一緒に笑う。

その毎日の積み重ねが、子どもの自己肯定感や「自分は大切にされている」という気持ちを育てていきます。



未来を生きる力を育む教育

社会は大きく変化し、これからは「正解が一つではない時代」に入ります。

だからこそ私たちは、

- ・自分で考える力
- ・相手を尊重する力
- ・違いを認め合う力
- ・主体的に学び続ける力

を育む教育を大切にしています。

国際バカロレア（IB）の教育理念も取り入れながら、「答えを教える教育」ではなく、「自ら考え、探究する教育」を実践しています。

引継ぎに対する私たちの考え方

今回の民間移管は、新しい園を一からつくるものではありません。

これまで真菅北幼稚園・耳成西幼稚園が長年積み重ねてこられた教育・保育、地域とのつながり、保護者との信頼関係は、地域の大切な財産であると考えています。

私たちは、その財産を大切に受け継ぐことを第一に考えています。

「変えること」が目的ではありません。

「守るべきものはしっかり守り、さらに子どもたちのためにより良い教育・保育へ発展させていくこと」

それが私たちの考える民間移管です。



安心していただくために

引継ぎは、園児や保護者の皆様にできる限り不安や負担が生じないよう、檀原市、耳成西幼稚園職員の皆様と十分に連携を図りながら、一つひとつ丁寧に進めてまいります。

また、三者協議会をはじめ、保護者説明会や日々の情報発信を通して、保護者の皆様からいただいたご意見やご質問にも耳を傾けながら、安心して新年度を迎えていただけるよう努めてまいります。

私たちが約束すること

私たちが引き継ぐのは、園の運営や制度だけではありません。

子どもたち一人ひとりの笑顔、

保護者の皆様との信頼関係、

そして地域の皆様が長年育んでこられた園の歴史と文化です。

その大切な歩みを受け継ぎながら、子どもたちにとってさらに豊かな教育・保育環境をつくることです。

保護者の皆様、檀原市、そしてアタラシイカタチが同じ方向を向き、子どもたちの健やかな成長のために力を合わせる。

その為に、ご協力をよろしくお願いいたします。



引継ぎスケジュール

4月～6月 基本的情報整理・関係構築

4/13 耳成西幼稚園入園式・4/23 檀原市打合せ・4/28 檀原市打合せ

5/14 檀原市打合せ

6/1 檀原市打合せ・6/3 耳成西幼稚園引継ぎ・6/19 檀原市打合せ・6/30 三者協議会

7月～12月 教育保育内容・行事・地域活動・園運営全般の引継ぎ

9月～12月 1号願書配布・受付・保護者説明

1月～3月 保育見学及び保育参加・書類全般・最終確認

その他引継ぎ項目

- ・園児保護者関係（基本情報、要配慮事項、教育保育情報、保護者連絡事項）
- ・教育保育内容（教育課程、全体的計画、運営、行事、特別活動、安全管理）
- ・給食保健関係（給食、保健）
- ・行政法令（個人情報、地域連携）

